

授業科目 生活援助技術 III

【担当教員名】 石山 裕江	対象学年	2	対象学科	社会（介護福祉コース必修）
	開講時期	前期	必修選択	選択
	単位数	2	時間数	60

【ディプロマポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
○	○	○	○	◎

【概要・一般目標：GI0】
 尊厳の保持の観点から、どのような状態であっても、その人の自立・自律を尊重し、潜在能力を引き出したり、見守ることも含めた適切な介護技術を用いて、安全に援助できる技術や知識について習得する。

【学習目標・行動目標：SB0】

- 生活支援の視点から介護を考え、実践することができる。
- 自立に向けた居住環境の整備についての視点から、介護を考え実践することができる。
- 自立に向けた入浴・清潔保持の介護について考え実践することができる。
- 個々の状況に応じた自立に向けた移乗と移動の技術を習得し実践することができる。
- 介護者と利用者の安全に配慮した移乗と移動の技術を実践することができる。

回数	授業計画・学習の主題	SB0番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1・2	生活の理解：生活と生存の違い—QOL向上を目指した介護技術とは	1、2	演習
3・4	生活の理解—生活支援における介護者の倫理と姿勢	1、2	演習
5・6	個々の状況に応じた介護を考える—安全な住環境とは	1、2	演習
7・8	個々の状況に応じた介護を考える—安全な住環境とは	1、2	演習
9・10	個々の状況に応じた介護を考える—施設ケアにおける介護の実際	1、2	演習
11・12	個々の状況に応じた介護を考える—施設ケアにおける介護の実際	1、2	演習
13・14	入浴の意義と目的及び利用者のアセスメント	3	演習
15・16	自立に向けた入浴の介護—家庭の浴室での入浴	3	演習、担当：石山 裕江 他
17・18	自立に向けた入浴の介護—特殊浴槽での入浴	3	演習、担当：石山 裕江 他
19・20	自立に向けた入浴の介護—シャワー浴、ベッド上での洗髪	3	演習、担当：石山 裕江 他
21・22	自立に向けた清潔の介護—清拭、陰部の洗浄	3	演習、担当：石山 裕江 他
23・24	個々の状況に合わせた移動と移乗の技術—生活領域の拡大を目指して	3	演習、担当：石山 裕江 他
25・26	個々の状況に合わせた移動と移乗の技術—生活領域の拡大を目指して	3	演習、担当：石山 裕江 他
27・28	個々の状況に合わせた移動と移乗の技術—介護者の健康を守る介護技術	3	演習、担当：石山 裕江 他
29・30	まとめ	3	演習

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書				
その他の資料				

【評価方法】 実技試験、レポート、出席状況、授業態度等で総合的に評価する。	【履修上の留意点】 実技が中心の授業になるので、動きやすい服装と上履きが必要。
--	--